

# ◆ 講 習 会 ◆◆◆

## 「ユーザーのための実用固液分離技術」 -固液分離操作における基礎と実際-

主 催：分離技術会

協 賛：化学工学会分離プロセス部会、日本液体清澄化技術工業会、

日 時：2014年3月3日(月) 10:20～17:15

場 所：日本大学理工学部1号館（御茶ノ水）

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅，地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分

案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

定 員：80名（先着順）

固液分離技術は、化学工業、医薬・食品工業、環境工学など不可欠な技術として広く利用されています。しかしながら、現象の理論的な扱いが難しく、経験の蓄積が重視される技術分野でもあります。本講習会では、下記の要領で固液分離の基礎的現象・操作の理解、装置の概要と運転方法と適応分野、効率化、固液分離装置選定法を、この分野の第一線で活躍されている講師により、現場に即したノウハウを失敗事例を含めて、実用的な視点で分かりやすく丁寧に解説します。

### ■ プログラム

1. 固液分離の基礎 (10:20～11:10) (横浜国立大学) 中村 一穂 氏

固液分離の原理、装置の種類、対象となる懸濁液の特徴、関連する学問分野などについて概説し、固液分離技術の全体像を把握する。

2. 食品分野における固液分離プロセス (11:10～12:00) (キッコーマン食品) 山田 宗樹 氏

醤油製造を主体にして、食品分野で用いられている固液分離プロセスについて概説する。

<昼 食 11.30～12:30>

3. 産業・環境分野の固液分離 (13:00～13:50) (月島機械) 栗田 新平 氏

ろ過装置、遠心分離装置の種類、機構、特性、それぞれの適用用途、スケールアップのためのテスト方法等を紹介する。

4. コロイド分散液の評価 (13:50～14:40) (法政大学) 森 隆昌 氏

スラリー中の粒子分散・凝集状態を評価する手法について、その基本原理について、評価結果の実例を交えて解説する。

<休 憩 14:40～15:00>

5. 医薬品、ファインケミカル分野の固液分離 (15:00～15:50) (元住友化学) 高橋 邦壽 氏  
プロセスの中のろ過操作とろ過設備、ラボでのスケールアップ検討、遠心ろ過技術（トラブル、ろ過条件設定根拠、振切り条件設定など）について解説する。

6. バイオプロセスにおける膜分離 (15:50～16:40) (メルク) 川上 泰広 氏  
抗体医薬品や組換えタンパク質の製造プロセスでは、さまざまな膜分離が用いられている。各工程で求められるポイント、デバイス、膜分離手法などについてトレンドを踏まえて解説する。

7. Q&A (16:40～17:15)

参加費：維持・特別・正会員・協賛会員：17,000 円、会員外：27,000 円、同時入会：22,000 円  
(含むテキスト代。書籍「実用固液分離技術」を贈呈いたします。)

学生：5,000 円（※ただし、書籍「実用固液分離技術」の贈呈はございません。）

参加費は郵便振替または下記銀行に前納にてお振込みください。

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先：参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、下記事務局まで FAX または e-mail にてお申込ください。申し込み締切日：2014 年 2 月 25 日(火)、ただし締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきますので、お早めのお申込みをお願い致します。

## 「ユーザーのための実用固液分離技術」講習会参加申込書

氏 名			
勤務先			
所 属			
所 在 地	〒		
	TEL	FAX	
	e-mail		
送金内訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請 求 書	要 ・ 不要
会員資格	(正・維持・特別会員) ・ 学生 ・ 協賛団体会員 ・ 同時入会 ・ 会員外		

※上記項目は全てご記入くださいますようお願いいたします。

〒214-0034 川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571 e-mail : jim@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/